

## 第5回 経営検討委員会資料②

# 料金改定率の設定について

2015年12月25日

# 今後の経営検討委員会スケジュール

	日 時	主 な 内 容
第 5 回	12月25日(金) 13:30~ 災害対策室 (新館2階)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水道料金体系に係る諮問</li><li>・ <b>料金改定率の設定について</b></li><li>・ 新料金体系の検討課題について</li></ul>
第 6 回	1月26日(火) 14:00~ 災害対策室 (新館2階)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 料金体系検討にあたっての基本方針の整理</li><li>・ 新料金体系の検討(新料金表(案)の提示(複数案))</li><li>・ 料金改定の影響、導入後の状況、補助施策の検討</li></ul>
第 7 回	2月 8日(月) 13:30~ 第3委員会室 (本館4階)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新料金体系の検討(新料金表(案)の決定)</li><li>・ 料金改定の影響に対する補助施策(具体案)の提示</li><li>・ 水道料金体系答申案の提示、検討</li></ul>
第 8 回	3月22日(火) 13:30~ 未定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 諮問に対する答申</li></ul>

## 7 投資・財政計画（ビジョン第7章）

（3）財源資産の見直し（平成29年度に平均20%の料金改定を行うと想定）

### エ 経営目標の達成状況

- ◆ 3つの経営目標は、概ね達成できる見込みです。
- ◆ 今後、更なる経営の効率化等に取り組みます。

#### ①現預金残高40億円を確保する。

H34年度に40億円に達し、H40年度には33億円となります。  
計画期間の後半には目標の40億円を維持できないものの、  
安定経営に必要な運転資金30億円は確保できる見込みです。



#### ②企業債残高を181億円以下とする。

H40年度に181億円に設定して、補てん財源を確保できる  
見込みです。



#### ③健全な収支バランスを維持（当年度純利益を確保）する。

計画期間中、当年度純利益を確保できる見込みです。



# 料金改定率の決定

◆ 料金改定率は、「湖都大津・新水道ビジョン」第7章 中長期経営計画(経営戦略)の投資・財政計画において設定した20%をもとに、下表の案としております。

## 料金改定率案

No	料金改定率	H40末 現預金 残高	設定理由	経営目標		
				現預金	企業債	収支
案1	20.0%	33.0億	「湖都大津・新水道ビジョン」第7章 中長期経営計画(経営戦略)の投資・財政計画において設定した改定率です。	△	○	○
案2	21.4%	40.2億	平成40年度末の現預金の保有残高が目標額(40億円)を達成するように調整した案です。 ただし、平成38年度末(39.2億円),39年度末(38.6億円)における現預金の保有残高は40億円を下回ります。	○	○	○
案3	21.7%	41.7億	案2をベースに、平成32年度以降継続して現預金の保有残高が目標額(40億円)を達成するように設定した案です。	◎	○	○